

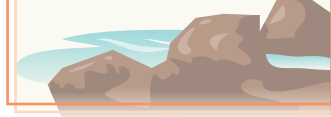
## 観察の注意点

天候の変化に注意しましょう。海では大波がある時は、波打ち際に近づかない方が良いでしょう。また、地震を感じたら海が静かなときも高台に避難しましょう。津波がやってくるかもしれません。

もし、海の中に入る時は、潮流にも注意が必要です。海の波や潮流については、漁師さんのようなその海に詳しい地元の人話を聞きましょう。また、潮はあつという間に満ちてきますので注意してください。自然をじっくり観察するには、潮が引いている時の方が適しているの、新聞などで潮の満ち引きの時間を調べていきましょう。また、貝殻やフジツボなどで手足を切ったり、ウニのとげが刺さったりしないよう注意してください。磯ではサンダルなどではなく、スニーカーなどをはくことをおすすめします。

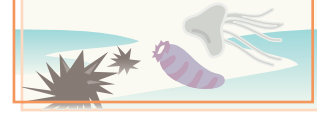
### 気をつけよう

岩場などはすべりやすいので気をつけよう。



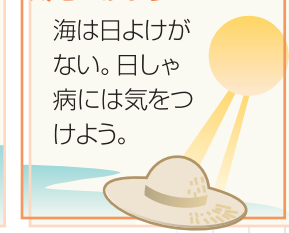
### 気をつけよう

水の中に住む生き物には、トゲがあったり、毒を持つものがある。



### 気をつけよう

海は日よげがない。日しゃ病には気をつけよう。



### 気をつけよう

海での観察は、新聞や潮時表であらかじめ潮の満ち干をしらべておこう。



### 気をつけよう

突然の大波やうねりには気をつけよう。



## 観察のポイント

波打ち際には、人が捨てたものだけでなく、自然のものもありませんか。流木や藻、魚やカニなどの死骸、木の実などが打ち上げられていませんか。貝殻も海の中に住んでいる貝が打ち上げられたものです。多いものは何だろう、どこからやってきたんだろうと観察していると、海の中のようすや、海流のようすなどがわかってきます。よく見ると、打ち上げられた木などには他の海の生き物がくっついていたりもします。磯では、しおだまり(みずたまり)をのぞいてみましょう。まわりの海の中にいる生き物やそのこどもたちが、いませんか。

ゴミのようすをみたら、帰りがけに回収していくようにしましょう。また、自然のものは打ち上げられた後どうなっていくか考えてみましょう。

### みじかな一句

朝日あび フェンスにまぎつく 朝顔や

奈良県 / 谷野健児さん

# 「海・湖沼」って どんなところ？

## とくちょう 特徴

海に囲まれ 湖や沼の多い日本

海辺や湖・沼の岸辺の自然は、場所によってようすが違います。

例えば海辺。ごつごつした岩に、波がど〜んとあたって砕けているような岩礁・磯があるかと思うと、細かい砂粒が波に洗われる砂浜、石ころがごろごろしているレキ浜、潮が引くと非常に細かい砂や泥からなる平らな土地が広がる干潟などいろいろな姿があります。それは、波あたりや潮の流れ方によって作られた違いです。

そして、それぞれのところには、そこに適した生き物が住んでいます。同じ貝でも、砂浜では、穴を掘って暮らす種類がほとんどですし、岩場では岩にへばりつくような貝が住んでいます。南の海のサンゴ礁は、生き物がつくった礁という土台の上に多様な生き物たちの世界が広がっています。

湖や沼の岸辺も同じです。岩場もあれば、砂浜もある。海と比べて波がなかったり、潮気がありませんから、静かなところでは、ヨシ原や林が岸辺まで広がるところもあります。

海辺や岸辺は  
私達の暮らしや文化にかかわる  
大切な自然です。



### みじかな一句

生き生きと 来たりぬ夏は 野の子らに

兵庫県 / 黒沢実さん